

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

テキスタイルマテリアル・グローアッププロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

福井市

3 地域再生計画の区域

福井市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本市繊維産業は、繊維サプライチェーンの川中（撚糸・織り・編み・染色）に属している事業者が大部分を占めている。これまでは、大手原糸メーカーからの委託加工の業態により成長してきたため、独自の製品企画開発、販売活動、販路拡大を行ってこなかった。そのため、資金負担やリスクはないが、受け身な事業活動になりがちであり、発注先の動向に大きく左右される経営状況に置かれる構造的な課題がある。

このような現状の中にあって、本市の先駆的な繊維事業者には、培った繊維技術を応用し、医療、航空、土木・建築分野など様々な分野へ展開している事業者や、ファッションの発信地である欧米や購買意欲の高い富裕層が増加している中国をはじめとするアジアなどの海外の新たな市場を開拓している事業者などが存在する。しかし、これらの動きは、事業者が単独で行ってきたものであった。そこで、新たに設立する産学官金連携ネットワークが、これらの事業者単独での動きを、本市の繊維業界全体を牽引する動きへと発展させていく必要がある。

高品質・高付加価値繊維の新分野、新市場への展開を積極的に押し進めることで、受け身であった体質から、自らが打って出る経営体質への転換を図ることが、現状を打開する方策である。

また、繊維工業の経営者平均年齢は、61.3歳であり、市全産業平均58.5歳と比較し高齢化が進んでおり、今後10年のうちに、事業承継、後継者育成などが円滑に進められない場合には、本市繊維事業者がもつ高い技術力が失われるという課題に直面しており、対応が急務である。

4-2 地方創生として目指す将来像

福井市の基幹産業である繊維産業は、事業所数や従業員数において製造業の約24%を占めており、糸加工・編織、染色加工を行う企業が集積し、高い技術力をもった繊維産地を形成している。また、繊維工業の製造品出荷額等の特化係数は15と、他の製造業と比較し5倍の開きがあることから、本市の繊維産業の特化傾向は顕著で地域経済の要である。一方で、繊維の国内市場の縮小や中国などの海外製品に押され、本市の繊維の製造品出荷額は、平成15年からの10年間で、894億から731億と年々減少（18%）している。

本市にとって繊維産業の衰退は、地域経済の縮小に直結し、直面する労働力人口の減少とあわせて解決すべき喫緊の課題である。

まず、本市繊維産業の主戦場である国内市場における対策が不可欠ではあるが、人口減少の影響もあり、国内市場の成長が見込めない中、異なる切り口からの対応が必要である。

そこで、市内大学、繊維事業者、農業関係事業者、市内金融機関などにより構成する産学官金連携ネットワークを新たに設立し、繊維産業の発展のための事業を総合的に推進する。

まず、本市の繊維産業が培った技術を活かし、繊維産業全体の更なるステップアップを遂げるため、今後市場拡大が期待できる成長分野への進出と新技術の開発を図る。すでに市内の先駆的な繊維事業者が進出する医療、航空、土木・建築分野への繊維技術の応用に加え、成長産業である農業（園芸）分野での技術応用を新たに目指す。

さらに、これまで市内繊維事業者の主戦場であった衣料分野においても、国内への販路開拓の推進はもとより、海外への販路開拓も強化することで、本市繊維産業の確固たる地盤を築くことを目指す。

また、企業の新分野への事業展開、新技術開発、国内外への販売促進に必要な人材の確保を促進するためのプロジェクトを立ち上げ、企業の活力の維持や稼ぐ力を向上させるとともに、若者が本市の繊維業界で夢をもって働ける環境を創出する。

これら一連の取組みを、産学官金の連携により本市産業の多角的な展開に対する機運を醸成し、繊維産業をはじめとする本市のものづくり産業の競争力を底上げすることで、地域経済全体の活性化に繋げる。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H29 年度 増加分 1 年目	H30 年度 増加分 2 年目	H31 年度 増加分 3 年目
市内繊維工業の製造品出荷額 (千円)	76,790,750	0	7,679	15,358
農業 (園芸) 分野への展開による新製品開発数 (件)	0	0	0	2
国内外のアパレルメーカーと市内企業の契約件数 (件)	0	0	5	7
農業 (園芸) 分野への展開による新製品売上額 (千円)	0	0	0	0

	H32 年度 増加分 4 年目	H33 年度 増加分 5 年目	KPI 増加分 の累計
市内繊維工業の製造品出荷額 (千円)	23,037	30,716	76,790
農業 (園芸) 分野への展開による新製品開発数 (件)	0	0	2
国内外のアパレルメーカーと市内企業の契約件数 (件)	9	10	31
農業 (園芸) 分野への展開による新製品売上額 (千円)	5,000	10,000	15,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本市の繊維製品の出荷額は、主戦場の国内衣料市場の縮小などにより減少している。この局面を打開するため、産学官金連携ネットワークを新たに設立し、国内市場の出荷額減少に歯止めをかける取組や、成長する非衣料分野や海外分野への展開、事業承継の推進などの取組を総合的に推進することで、本市の繊維産業の発展を図る。また、繊維産業以外の産業についても技術開発、人材育成、設備投資、販路開拓等の支援を行うことにより、地域経済全体の活性化に繋げる。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

福井市

② 事業の名称：

テキスタイルマテリアル・グローアッププロジェクト

③ 事業の内容

産学官金によるネットワークを新たに形成し、市内繊維事業者の成長分野への事業展開を推進する。

具体的には、園芸施設における温度管理や、作業環境、土壌改良などの課題解決のため、本市の繊維産業が持つ高い技術力を生かした新技術、新製品について、研究開発から企画・製造、販路開拓の一貫した事業の推進を図る。

併せて、繊維産業が抱える後継者育成、事業承継や、海外展開、新たな販路開拓といった課題の解決に向けた取組を展開することで、繊維産業の基盤強化と活性化を目指す。

- ・本市の基幹産業である繊維産業の成長分野である農業（園芸）分野への新技術、新製品の開発（高い遮熱性と透光性を兼ね備えたビニールハウスの農業資材用カーテンや、天然繊維を活用した生分解性マルチシートなど）
- ・繊維事業者の基盤強化のための、衣料・非衣料の国内外の新市場開拓
- ・繊維事業者をはじめとする本市のものづくり産業の事業承継、後継者育成プロジェクト
- ・産学官金のネットワークによる事業推進主体の形成と事業計画の策定

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

産学官金連携ネットワークによる事業展開の推進を通じた産学官金の連携による本市産業の多角的な展開に対する機運の醸成や販路開拓、事業承継の支援により、繊維事業者の稼ぐ力を向上させ、自立を図る。

【官民協働】

市内大学、繊維事業者、農業関係事業者、市内金融機関などからなる産学官金ネットワークを新たに形成し、繊維産業の多角的な展開を推進する。

【政策間連携】

繊維産業は本市の基幹産業であり、事業者数、従業員数も多いため、繊維産業の稼ぐ力が向上することで、他の産業や地域経済全体に好影響を与える。本事業による繊維産業以外の産業への支援や雇用ニーズへの対応をしっかりと行うことで、本事業の効果をより一層高める。

【地域間連携】

本事業における開発成果を園芸規模の大きい近隣自治体へと拡大していくことにより、園芸および繊維事業者両者ともに規模拡大を図ることができる。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H29 年度 増加分 1 年目	H30 年度 増加分 2 年目	H31 年度 増加分 3 年目
市内繊維工業の製造品出荷額（千円）	76,790,750	0	7,679	15,358
農業（園芸）分野への展開による新製品開発数（件）	0	0	0	2
国内外のアパレルメーカーと市内企業の契約件数（件）	0	0	5	7
農業（園芸）分野への展開による新製品売上額（千円）	0	0	0	0

	KPI 増加分の 累計
市内繊維工業の製造品出荷額（千円）	23,037
農業（園芸）分野への展開による新製品開発数（件）	2
国内外のアパレルメーカーと市内企業の契約件数（件）	12
農業（園芸）分野への展開による新製品売上額（千円）	0

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証

【外部組織の参画者】

福井大学、福井銀行、福井商工会議所、市民団体等の有識者

【検証結果の公表の方法】

HP等での公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 42,526千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) マーケット開発支援事業

事業概要：本市産業の活性化を図るために、市内の中小企業等が行う、技術開発、人材育成、設備投資、販路開拓等の支援を行う。

実施主体：福井市

事業期間：平成29年度～平成33年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証

【外部組織の参画者】

福井大学、福井銀行、福井商工会議所、市民団体等の有識者

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H29 年度 増加分 1 年目	H30 年度 増加分 2 年目	H31 年度 増加分 3 年目
市内繊維工業の製造品出荷額 (千円)	76,790,750	0	7,679	15,358
農業 (園芸) 分野への展開による新製品開発数 (件)	0	0	0	2
国内外のアパレルメーカーと市内企業の契約件数 (件)	0	0	5	7
農業 (園芸) 分野への展開による新製品売上額 (千円)	0	0	0	0

	H32 年度 増加分 4 年目	H33 年度 増加分 5 年目	KPI 増加分 の累計
市内繊維工業の製造品出荷額 (千円)	23,037	30,716	76,790
農業 (園芸) 分野への展開による新製品開発数 (件)	0	0	2
国内外のアパレルメーカーと市内企業の契約件数 (件)	9	10	31
農業 (園芸) 分野への展開による新製品売上額 (千円)	5,000	10,000	15,000

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

福井市 HP 等での公表